MOTOROLA

特定小電力トランシーバー
MS80
取扱説明書

47チャンネル

このたびはモトローラの特定小電力トランシーバーMS80をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用される前に別紙の“安全上のご注意”と本取扱説明書を必ずお読みください。

このトランシーバーは国内専用モデルです。海外では使用できません。

モトローラ特定小電力トランシーバーのお問い合わせ先 ... 03-6365-7000
ホームページ..... http://www.motorolasolutions.com/JP

仕様は改良のため、予告なしに変更することがあります。

モトローラ、MOTOROLA、モトローラのロゴマーク及び Ⓡ 表示が付された商標は米国およびその他の国における Motorola, Inc. の登録商標です。文中に記載されている他社の製品名やサービス名等は、各社の商標または登録商標です。

モトローラ・ソリューションズ株式会社 PCR 事業部
〒 106-0032 東京都港区六本木 1-8-7 アークヒルズ

© Copyright 2013 Motorola Solutions, Inc. All rights reserved.

E C 0 8 6 0 0 6 2

中国印刷

付属品 － 下記の付属品をご確認ください。 －

●リチウムイオン電池パッケージ
- リチウムイオン電池パック..... 1
- リチウムイオン電池ケース..... 1
- シングル充電器（AC アダプタ付） 1

●アルカリ乾電池対応パッケージ
- アルカリ単3乾電池ケース..... 1

●両パッケージ共通
- ベルトクリップ（取付用ビスも含む）.. 1
- 取扱説明書（本書）..... 1
- 安全上のご注意 / 保証書..... 1

お客様へ

● 防水（防噴流）について

外部マイク接続時は防噴流にはなりません。外部マイク接続時に雨天等でご利用になる場合は、外部マイクのケーブルを伝わってトランシーバー内部に水が入らないようご注意ください。故障の原因となります。

本機の防水性能を末永く確保していただくために、必ずご使用になる前に下記の項目をご確認ください。

キズ、劣化、外れ、汚れなどの確認
- ボタンやスイッチ類のラバー
- MIC ジャック、SP ジャックのキャップ
- 電池ケースの防水パッキン

お手入れのしかた

水・砂・泥などがついたときは、柔らかいきれいな布で拭きとってください。必ず MIC ジャック、SP ジャックのキャップと、電池ケースを確実に閉めた状態で拭きとってください。

オーバーホールのお奨め

お買い上げから 1 年経過した後、またはキズ、劣化等が確認されたときはオーバーホールをお奨めします。また、オーバーホール後も定期的なメンテナンスをお奨めします。なお、オーバーホール代金は有償となりますのであらかじめご承知おきください。

●アフターサービス

◎ 保証期間はお買い上げの日より 1 ヵ年です。
本製品には保証書が添付されています。お買い上げいただいた日から 1 年以内に、取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合には、無料で修理をお引き受けします。
過失など、故障内容によっては、保証期間中であっても有償修理の対象となる場合があります。

◎ 保証書は大切に保管してください。
保証書を紛失しますと、保証期間中に発生した故障でも保証期間が経過したものとして有償扱いさせていただきますのでご了承ください。
また、お買い上げ日・販売店名等の必要事項が記入してない保証書も無効扱いさせていただきますので、お買い上げいただきました販売店名・お買い上げ年月日等が正しく記入されていることをご確認のうえ、大切に保管してください。

故障かな？ と思ったら・・・

間違った操作をしていませんか？
修理を依頼される前に、ちょっとお確かめください。

◎ 電源が入らない！
- 電池は正しく取り付けてありますか？
- 電池は消耗していませんか？
- リチウムイオン電池パック（BN60）は十分に充電してありますか？

◎ 送信できない！
- PTT（送信ボタン）を正しく押していますか？
- 受信専用モードが ON になっていませんか？
- 相手が話し中ではありませんか？
  信号を受信しているとき、送信できません。
- 外部マイク使用の場合、きちんと最後まで差し込まれていますか？

◎ 通話できない！
- 相手と同じ通話モード（ノーマルモード・グループモード）に設定していますか？
- 相手と同じチャンネルに設定していますか？
- 相手と同じグループ番号（または DCS コード）に設定していますか？
- プライバシーモードの場合、送信側・受信側ともプライバシーモードの設定がされていますか？
- 相手との距離が離れすぎていませんか？

◎ こちらの声が、相手側で小さく聞こえる！
- マイクロホンを塞いでいませんか？
- マイクから口元が離れていませんか？
- 音量は適正ですか？

◎ 勝手に電源が切れる！
- オートパワーセーブ機能が設定されていませんか？
- 電池が消耗していませんか？
- リチウムイオン電池パック（BN60）は十分に充電してありますか？

◎ グループモードで運用中に他の人の通話が聞こえる！
- モニター機能になっていませんか？
  電源ボタンを長押し（約 1 秒）して電源を切り、再度電源ボタンを長押し（約 0.5 秒）して電源を入れると解除されます。
- 他の人も同じグループ番号を使用している場合があります。
  グループ番号を変えてください。

正常に動かないとき － オールリセット －

スイッチを押しても反応しないときや、『故障かな？と思ったら・・・』の項目に従って点検しても正常に動作しないときは、次の操作を行ってください。

●リセットを行うと、登録した内容はすべて消され、工場出荷時の“初期値”に戻ります。

① 電源ボタンを長押し（約 1 秒）して、電源を切ります。
② ▲ボタン、▼ボタン、MODE（On）ボタンを同時に押しながら、電源ボタンを長押し（約 0.5 秒）して、電源を入れます。
③「ピッ」と鳴り、オールリセットされます。

定　格

送受信周波数（12.5kHz ステップ）
- 01ch ～ 11ch：422.0500MHz ～422.1750MHz
- 12ch ～ 20ch：422.2000MHz ～422.3000MHz
- 中継装置使用時：
  - 21ch ～ 38ch：送信440.0250MHz ～440.2375MHz
    受信421.5750MHz ～421.7875MHz
  - 39ch ～ 47ch：送信440.2625MHz ～440.3625MHz
    受信421.8125MHz ～421.9125MHz

電波型式：F3E
通信方式：シンプレックス方式およびセミデュプレックス方式
送信出力：10mW/1mW（中継チャンネル 21 ～ 38ch）以下（電波法施行規則第 6 条適合）
受信感度：－ 7dBμV 以下（@ 12dB SINAD）
低周波出力：400mW 以上（@ 8 Ω、THD10%）電源電圧 3.7V 時
動作温度範囲：－ 10℃～＋ 50℃
定格電圧：DC 3.7V
動作電圧範囲：DC 2.2V ～ 4.5V
本体寸法：リチウムイオン電池ケース使用時
99.5 × 55 × 23.5mm（高さ×幅×奥行き：アンテナおよび突起部を含まず）
アルカリ単 3 乾電池ケース使用時
99.5 × 55 × 30mm（高さ×幅×奥行き：アンテナおよび突起部を含まず）
本体重量：リチウムイオン電池ケース使用時　約 138g（リチウムイオン電池パックを含む）
アルカリ単 3 乾電池ケース使用時　約 120g（単 3 形アルカリ乾電池を含まず）

この定格は性能向上のため予告なく変更することがあります。

※ RoHS 指令対応

アクセサリ － 詳細はカタログをご覧ください －

◎ リチウムイオン電池パック：BN60
◎ リチウムイオン電池ケース：JCPLN0002
◎ アルカリ単 3 乾電池ケース：JCPLN0003
◎ シングル充電器（AC アダプタ付）：JCPCN0003
◎ 6 連型充電器（AC アダプタ付）：JCPCN0004
◎ スピーカマイク：JSPMN0001
◎ ブームマイクイヤホン：JSPRN0003
◎ 小型タイピンマイク＆イヤホン：JSPRN0001
◎ タイピンマイク＆イヤホン（マイク感度切替え付）：JSPRN0002

セットメニューで設定する便利な使いかた

PTT（送信ボタン）を押さずに送信する － VOX 機能 －

PTT（送信ボタン）を押さなくても、話を始めると自動的に送信状態になり、話をやめると受信状態に戻ります。

① 電源ボタンを長押し（約 1 秒）して、電源を切ります。
② MODE（On）ボタンを押しながら、電源ボタンを長押し（約 0.5 秒）して、電源を入れます。
③ “oo-oF”が表示されるまで、MODE（On）ボタンを何度か押します。
④ ▲または▼ボタンで、“oo-on”にあわせます。
⑤ PTT（送信ボタン）を押します。
設定操作を行う前の状態に戻ります。

● VOX の感度や遅延時間を、セットメニューで細かく設定することができます。詳しくは裏面の“セットメニューによる機能設定”をご確認ください。
● VOX 機能は PTT ホールド機能および自動マイク感度切替え機能と同時に利用することはできません。

空きチャンネルを自動で探す － オートチャンネルセレクト機能 －

PTT（送信ボタン）を押すと、そのとき空いているチャンネルに設定され（相手のトランシーバーも、自動的に同じチャンネルに設定されます）交信することができます。

● 相手のトランシーバーも、同じグループ番号（または DCS コード）に合わせた後、オートチャンネルセレクト機能を“ON”にしてください。

① 電源ボタンを長押し（約 1 秒）して、電源を切ります。
② MODE（On）ボタンを押しながら、電源ボタンを長押し（約 0.5 秒）して、電源を入れます。
③ “Ac-oF”が表示されるまで、MODE（On）ボタンを何度か押します。
④ ▲または▼ボタンで、“Ac-on”にあわせます。
⑤ PTT（送信ボタン）を押します。
チャンネル表示が“AU”に変わり、自動的にグループモードになります。

この状態で PTT（送信ボタン）を約 1.5 秒以上押すと、相手と交信することができます。

● PTT（送信ボタン）を約 1.5 秒以上押さないと、相手局と交信することはできません。

自動でマイクの感度を切替える － 自動マイク感度切替え機能 －

周囲の騒音の状況に応じて、自動的に適切なマイク感度に切替わります。
騒音の激しい場所と静かな場所を行き来するような場合に便利な機能です。

① 電源ボタンを長押し（約 1 秒）して、電源を切ります。
② MODE（On）ボタンを押しながら、電源ボタンを長押し（約 0.5 秒）して、電源を入れます。
③ “AL-oF”が表示されるまで、MODE（On）ボタンを何度か押します。
④ ▲または▼ボタンで、“AL-on”にあわせます。
⑤ PTT（送信ボタン）を押します。
設定操作を行う前の状態に戻ります。

● VOX 機能と同時に利用することはできません。

送信を禁止して受信専用として使用する － 受信専用モード －

ガイドシステム子機などに使用するとき、PTT（送信ボタン）を押しても「ブーブー・・・」と警告音が鳴り、ディスプレイに“Em”と表示されて、送信できないようにすることができます。

① 電源ボタンを長押し（約 1 秒）して、電源を切ります。
② MODE（On）ボタンを押しながら、電源ボタンを長押し（約 0.5 秒）して、電源を入れます。
③ “ro-oF”が表示されるまで、MODE（On）ボタンを何度か押します。
④ ▲または▼ボタンで、“ro-on”にあわせます。
⑤ PTT（送信ボタン）を押します。
設定操作を行う前の状態に戻ります。

● VOX 機能と同時に利用することはできません。

LED インジケータを点灯しないようにする

送信時に“赤色”、信号受信時に“緑色”に点灯する LED インジケータを、点灯しないようにすることができます。
電池の消耗を抑えたい時や、LED の点灯が目障りな場合は“OFF”にしてください。

① 電源ボタンを長押し（約 1 秒）して、電源を切ります。
② MODE（On）ボタンを押しながら、電源ボタンを長押し（約 0.5 秒）して、電源を入れます。
③ “LE-on”が表示されるまで、MODE（On）ボタンを何度か押します。
④ ▲または▼ボタンで、“LE-oF”にあわせます。
⑤ PTT（送信ボタン）を押します。
設定操作を行う前の状態に戻ります。

チャンネルの表示方法を切替える

チャンネルの表示方法を、下記の 2 通りから選択することができます。
チャンネル表示方法が異なるトランシーバーと交信する場合、相手のチャンネル表示方法に合わせることができます。

① 電源ボタンを長押し（約 1 秒）して、電源を切ります。
② MODE（On）ボタンを押しながら、電源ボタンを長押し（約 0.5 秒）して、電源を入れます。
③ “Ch-47”が表示されるまで、MODE（On）ボタンを何度か押します。
④ ▲または▼ボタンで、希望の表示方法にあわせます。
47 に設定：01 ➡ 02 ➡ 03 ➡ 04 ➡ 05 ➡ ・・・ ➡ 15 ➡ 16 ➡ 17 ➡ 18 ➡ 19 ➡ 20
St に設定：1 ➡ 2 ➡ 3 ➡ ・・・ ➡ 7 ➡ 8 ➡ 9 ➡ 01 ➡ 02 ➡ 03 ➡ ・・・ ➡ 09 ➡ 10 ➡ 11
⑤ PTT（送信ボタン）を押します。
設定操作を行う前の状態に戻ります。

セットメニューによる機能設定一覧

本機には 21 種類のセットメニューがあります。
各メニューの設定を変更するときは次の手順で行います。

① 電源ボタンを長押し（約 1 秒）して、電源を切ります。
② MODE（On）ボタンを押しながら電源ボタンを長押し（約 0.5 秒）して電源を入れます。
セットメニューが表示されます。
③ MODE（On）ボタンを押すたびに、セットメニューが切り替わります。
設定したいメニューを選択します。
④ ▲または▼ボタンを押して、点滅している設定項目を選択します。
⑤ PTT（送信ボタン）を押します。
セットメニューの設定が終了します。

PTT（送信ボタン）以外に、電源ボタンを長押し（約 1 秒）して電源を切っても、セットメニューの設定を終了することができます。

ディスプレイ表示	機能説明	選択項目	初期値
GP:01	グループコード（01 ～ 38）の選択 グループコードの番号を選択します。	01 ～ 38	01
Ph:oF	PTT ホールド機能の ON/OFF ON にすると、PTT（送信ボタン）を一度押すことにより、再度 PTT（送信ボタン）を押すまで、送信状態が続きます。 ※ VOX 機能と同時に利用することはできません。	OFF/ON	OFF
Ac:oF	オートチャンネルセレクト機能の ON/OFF ON にすると、PTT（送信ボタン）を押した時に、誰も使用していないチャンネルを自動で選び、相手局と交信することができます（相手のトランシーバーも、オートチャンネルセレクト機能を ON にしてください）。	OFF/ON	OFF
AL:oF	自動マイク感度切替え機能の ON/OFF ON にすると、声の大小に応じて、自動的に適切なマイク感度に切り替わります。 ※ VOX 機能と同時に利用することはできません。	OFF/ON	OFF
EG:2	外部マイク感度切替え機能 アクセサリの外部マイクを使用する際、マイク感度を 3 段階で設定することができます。感度を低くするときは“1”、感度を高くするときは“3”に設定します。	1 / 2 / 3	2
oc:oF	VOX 機能の ON/OFF ON にすると、PTT（送信ボタン）を押さなくても、話を始めると自動的に送信状態になり、話をやめると受信状態に戻ります。 ※ PTT ホールド機能および自動マイク感度切替え機能と同時に利用することはできません。	OFF/ON	OFF
oL:08	VOX 感度設定 VOX 機能動作時、送信状態になる時の感度を設定します。周囲の騒音が大きく、話をしていないのに送信状態になる時などは、感度を下げて（数値を小さく）ください。	1 ～ 15	8
or:05	VOX 遅延時間設定 VOX 機能動作時、話をやめてから受信状態に戻るまでの時間を、0 秒（設定値“0”）～ 5 秒（設定値“50”）の間で設定（約 0.1 秒間隔）できます。	0 ～ 50	5（約 0.5 秒）
ro:oF	受信専用モードの ON/OFF（ガイドシステム子機などに使用のとき、VOX 機能と同時に使用することはできません） ON にすると、PTT（送信ボタン）を押しても「ブーブー・・・」と警告音が鳴り、ディスプレイに“Em”と表示されて送信できません。	OFF/ON	OFF

ディスプレイ表示	機能説明	選択項目	初期値
bP:on	ビープ音の ON/OFF ボタンやスイッチを押したときに、確認音として電子音が鳴ります。 この音が目障りなときは OFF に設定してください。	ON/OFF	ON
tb:oF	送信ビープ音の ON/OFF ON にすると、送信を始めた際に電子音が鳴ります。 外部マイクで VOX 機能を使用するときなど、送信状態になったことを音で確認することができます。	OFF/ON	OFF
ch:47	チャンネル表示の切替え チャンネルの表示を、01 ～ 47 の表示（47 に設定した場合）、または、1 ～ 9, 01 ～ 11 の表示（St に設定した場合）に、切替えることができます。	47/St	47
LE:on	LED インジケーターの ON/OFF OFF にすると、送受信時に LED インジケーターが点灯しないようになります。	ON/OFF	ON
LP:2	照明ランプ設定 通常は“2”に設定されており、ボタンを押すと照明ランプが約 2 秒間点灯します。OFF にすると、照明ランプを照明消灯することができます。	2 / OFF	2
cP:oF	コンパンダー機能 ON にすると、相手が話しているときに聞こえる「サー」というバックノイズを軽減し、相手の音声を聞き取りやすくします（相手のトランシーバーも、コンパンダー機能を ON にしてください）。	OFF/ON	OFF
hE:oF	音質切替え機能 ON にすると、高域が強調されて音質になります。	OFF/ON	OFF
AP:oF	オートパワーセーブの ON/OFF ON にすると、2 時間何も操作しないと電源の切り忘れとみなし、自動的に電源を OFF にします。1 分前に「ピピッ」と警告音が鳴り、電源が切れます。	OFF/ON	OFF
ct:1	コール音回数（1 ～ 5）の選択 コール音で呼び出しできる“コールトーン機能”が動作時の、コール音が鳴る回数を選択できます。 1 ～ 5 のいずれかの数字を電子音の回数で送信します。送信中に MODE（On）ボタンを押している間、コール音を選択した回数送ることができます。通常は“1”に設定されています。 数字　電子音 1　ピロロッ 2　ピロロッ ピロロッ 3　ピロロッ ピロロッ ピロロッ 4　ピロロッ ピロロッ ピロロッ ピロロッ 5　ピロロッ ピロロッ ピロロッ ピロロッ ピロロッ	1 ～ 5	1
Pd:on	PTT ディレイ機能の ON/OFF（グループモード） 相手の話が終わり、待ち受け状態になるときに聞こえる「ザーッ」という雑音（ノイズ音）をカットして受信します（相手のトランシーバーも、PTT ディレイ機能を ON にしてください）。	ON/OFF	ON
Ec:1	エマージェンシー機能の設定（アラームまたはメモリーチャンネルの選択） “1”：緊急アラーム音で緊急を知らせる“アラーム”の動作になります。 “2”：あらかじめ決めておいて緊急連絡用のチャンネル（メモリーチャンネル）に自動的に切り替わります。	1 / 2	1
dP:10	中継機能使用時の送信出力の切り換え 中継機能時に使用する、21 ～ 38 チャンネルにあわせたときの送信出力（アンテナから出力される電波の強さ）を切り替えることができます。 “1”：送信出力が 1mW に設定され、中継機能使用時に 3 分以上の連続送信が可能になります。 “10”：送信出力が 10mW に設定され、連続して送信できる時間は 3 分以内になります。	1 / 10	10

株式会社エクセリ(代理店届出番号C1909977)　東京都墨田区菊川3-17-2 アドン菊川ビル4F / 大阪府大阪市中央区久太郎町1-9-5　URL：https：//www.exseli.com/